



2003-2004年度 第24回例会

## 宇都宮南ロータリークラブ 会報

会長：塩田 潔 幹事：荒井 健次 会報委員長：松島 輝幸

例会場及び例会日：ホテルニューイタヤ（水曜12:30）

事務所：宇都宮市鶴田町67-60 横田地方

TEL (028) 647-2866



Lend a Hand

手を貸そう

通算第 1082 号

平成 15 年 12 月 17 日（晴）会員数 57 名 列席 32 名

司 会 S.A.A. 藤井君

ロータリーソング「「それでこそロータリー」」

ビジター紹介 瀧 親睦委員

1 名（1 クラブ）延 11,660 名

宇都宮 R.C. 山口 高寛君

会長挨拶 塩田会長

先週はクリスマス家族会でお世話になりました。かなり盛大に出来たと思います。関口親睦委員長をはじめ親睦委員会の皆さん本当に有難うございました。ほぼ予算通り、また人数的にもかなり来ていただきました。内容も良かったと思います。またオークションも集まりご協力有難うございました。また田島さんにもお世話になりました。今日は宇都宮大学の杉田先生をお迎えしてカラスとヒトということでお話をさせていただきます。大変興味深い話が聞けるのではないかと楽しみにしています。イラクで元フセイン大統領が拘束されたというニュースが聞こえ、またまたテロが多発されるのか、或いはこれで沈静化されるのか、自衛隊の問題はどうなるのかと非常に予断を許さない国際情勢ではないのかなと思います。また、県内では足銀の問題で新たな頭取が決まったということで、とりあえず一段階はいったかな、これからが本当に我々の前にいろいろな問題が出てくるのではないかと、私も実際仕事の面で支障をきたしている部分が出ています。融資で決まる寸前だったのがちょっと待ったという状況が出てきています。これからそういう問題があらゆるところで出てくるのかなと思いますが、一日も早くいい方向に転換していただいで、我々県民が安定した生活が出来るように、仕事出来るような状況を早く作っていただきたいなと思います。片岡副会長よりメールが届いたかと思いますが、いよいよ南クラブにもホームページができるということです。特にありきたりではなく、楽しいホームページを作っていただくようお願いしてありますので、会員相互の交流がはかれるようなホームページです。来年からは会報がなくなります。ホームページでご覧下さい。国際大会の申し込みは 14 名で申し込みさせていただきました。これからまだ申し込みをお願いしたいと思います。宜しくお願い致します。

例会日	12/17	出席計	33人
会員数	57人	欠席	24人
当日出席	30人	出席率	64.58%
事前mu	3人	前回出席率	100%

次回例会予定

平成 15 年 12 月 24 日（水）  
クラブフォーラム

## 幹事報告 若林副幹事

- ・「よみがえれ！宇都宮城」市民の会より会報第2号受領。

## 委嘱状授与

- ・2003～2004年度 地区大会委員 米光啓彌会員 / 村上芳弘会員

## 今月の各種お祝い事

本人誕生祝 小塚照夫君 喜内敏夫君 関口 隆君 佐藤光弘君 鈴木秀明君  
 夫人誕生祝 佐藤光弘君 金田秀寿君  
 事業所創立祝 青木 勲君 北関東総合警備保障(株) / 村上芳弘君 日東石油(株)  
 半貫一芳君(有)半貫建築設計事務所 / 今野修治君 栃木リコー(株)  
 田島久夫君(株)ホテルニューイタヤ / 瀧 英起君 瀧労務管理事務所  
 入会祝 平澤照隆君 安藤邦夫君 笠原正人君 塩山 渡君 辻 信久君  
 名村威司君 半貫一芳君 福田直司君 米光啓彌君

## 委員会報告

\*スマイルボックス委員会 辻 委員

阿久津会員・・本人誕生祝

佐藤(光)会員・・お花をありがとうございました。(夫人誕生祝)

半貫会員・・事業所創立祝

関口会員・・クリスマス家族会では皆様に大変ご協力いただきまして有難うございました。

## 卓 話 「カラスとヒト」 宇都宮大学農学部 杉田昭栄教授

医学部研究の中で私がずっと専門にしてきました神経解剖の角度から、巷では賢いといわれているカラスの脳をのぞいてみようというところからカラス学を始めたのですが、野鳥の会とか生態学者の中では、カラスの飛んでいる姿、日常の行動を解析する研究者は、東京大学とか京都大学に何人かおられるのですが、カラスの体そのものをいじってやるのは、やはりバックグラウンドに解剖学をしていた者しか出来ないとみえて、カラスのことに對していろいろと問合せがありました。カラスに對しての問題解決に向けて様々な企業が私のところにやってきましたり、珍しい研究をやっているということで、マスコミ等がよってきましたりして、知らないうちに「カラス博士」というか、カラス学をやらざるを得ないということになってきました。今日はその中の一部とまた、私の研究ではありませんが、カラスとヒトと流れの中で皆さんにこういう生き物なのかというようなことを少し知っていただければ幸いと思い、構成をしてきました。そういう形でカラスというのは私たちに近づいてきているのかと先ほど会長さんともお話をしましたけれど、何かと私たちのそばをつかず離れずという関係でいます。私たち人間の営みと深く関わっている生き物です。

(画像を見ながら説明)

カラスは鳥類の中では際立って発達しており、ニワトリの約7倍、2億3千万個の神経細胞があること、グループ分けや数の多少がわかる高度な知能をもつこともわかりました。

好きなのは田んぼで落穂拾いをするカラスの姿。カラスを自然の一场景として見ることのできる環境をつくっていききたいということでした。